

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区

大東ロータリークラブ

■ 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL: 072-875-1200
FAX: 072-875-0590
E-mail: office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/

■ 例会
毎週火曜日 12時30分~1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL: 072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

- Reach Within to Embrace Humanity -

創立 1967年12月26日

■ 会長 大西 寛治
■ 幹事 上田 正義
■ 会報委員長 北本 良弘

2011年~2012年度
国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー

平成23年7月19日

No. 2121

H23. 7. 12 (No. 2120の例会記録)

今週の卓話 (7月19日)

「新年度の方針発表」

各委員長

次週の予定 (7月26日)

「大腸のおはなし~最新大腸癌治療を踏まえて~」

大阪医科大学 外科 講師 山本 哲久 氏
堀部 邦夫 会員

先週の例会報告

◆ 出席報告 (7月12日分)

会員数 44名 出席数 32名 欠席者 3名
特定免除 8名 その他免除 1名
出席率 86.49%

前々回6月28日分

ホームクラブの出席者 35名 87.50%
メイクアップの結果 37名
特定免除 6名 その他免除 1名
欠席者 1名 修正出席率 92.50%

ロータリーソング

「手に手つないで」「四つのテスト体操」

ニコニコ箱

- ・楽しい例会、仲間に会える楽しみ
奉仕の出来る喜びに感謝 大西 寛治 君
- ・大峯登山してきました 感謝 中野 秀一 君
- ・早退お詫び 高田 眞吾 君
- ・メーカーキャップ無しお詫び 松原 清一 君



株価が一時的に1万円を超え経済も少し回復したように思われます。しかし、電力不足で先行きは不透明です。一日も早く原発事故が収束する事が第一ではないかと思えます。

7月6日に会長として、第27回青少年健全育成市民大会に出席しました。市長の市政報告も明るく、わかりやすく挨拶の中で発表されセレモニーも終わり講演に入りました。四条畷警察生活安全課長 警部、秦野祐次氏の講演でした。私は会長、そして家内は民生委員の立場で、二人ともあまり期待しないで出席しました。ところが、久しぶりにいい話を聞かして頂きまし。講師の自己紹介のつかみで、演台から降り、ユーモラスたっぷりにそして手品を絡めて、参加者を引きつけました。本題に入り、登壇し過去の事例を交えて、少し、会場の雰囲気を見てプロ級の手品で聞くものを退屈させない話術には敬服し、公務員でなければ、高い講演料をとれると思いました。



子供が非行に走るのは子供の性格、遺伝子、の様な素因、それを取り巻く家庭環境、それを取り巻く社会環境が問題あり、北風と南風の話、非行の服を脱がそうとすれば、冷たい北風より、温かい風を心に吹き込めば、非行の服を脱ぐと話された。

最後に皆さん世の為、人の為にボランティアに参加をと訴えておられました。素晴らしい講演を聞く機会を得た事に感謝いたします。

最後に、14日に桐蔭のインターアクトクラブの例会があります。

すでに、皆さんはインターアクトクラブの目的、趣旨はご存じだと思います、余り知られていないことを話します。インターアクトクラブは提唱ロータリークラブ、国際ロータリークラブの一部として考えてはならない。

インターアクトクラブの会員は「ジュニア・ロータリーアン」と呼ばれたりみなされたりしない。徽章もインターアクトクラブ専用のものがあり、ロータリー旗・バッジは使用できない。

14日インターアクトクラブの例会があります。出席をお願い致しまして会長の時間といたします。





委員会報告

◎社会奉仕委員会

橋本 正幸 委員長

7月9日第一回クラブ社会奉仕委員長会議が行われ、地区社会奉仕委員会の震災に対する活動や補助金の申請について話し合いました。

委員会では、タイムリーに且つ適切な支援を行うため、現地に行って被災地のロータリアンに会うことから始めようと、「東北にメイクアップに行こう」をテーマに取り組むことでした。また、IM3組では、3組としての取り組みは考えていないということでした。

大東ロータリーといたしましては、東日本大震災に対する支援を国際奉仕委員長と協議し、理事会に諮っていききたいと考え検討を行っています。

今後の活動に対しまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

7月6日付で2660地区から、支援を行うに際してクラブ独自では資金面で厳しいなどの要望に応えるため「東日本大震災復興支援2660地区基金」の設立を行うこととなりました。被災地支援のための義援金にご協力いただきますよう、重ねてお願いいたします。

先週の卓話

「新年度の方針発表」

◆会計

小川 芳男 会員

クラブ運営は、ここ数年の会員減少が影響し、大変厳しい予算になってきております。本年度は、4名の新入会員を見込み、13,086,000円の一般会計予算とさせていただいております。

会員皆様方には、会員増強に対するご理解とご協力をよろしくお願いいたします。また、会計業務がより円滑に行われるよう努力いたしますので、会員各位のご指導とご協力をあわせてお願い致します。





◆S A A

中 恒夫 会員

S.A.Aは例会の運営と統括が任務であります。本年度会長方針であります

「我々の心にチャーターメンバーの熱い思いを今一度」を基本において、

スムーズな進行と規律正しい例会にしていきたいと思えます。

例会中において、遅刻、早退、私語の禁止等、効果的で秩序のある例会になる様に努めていきたいと思えます。会員の皆様におかれましては、四つのテストをメンバー一人一人が今一度考えなおしていただき、楽しい例会になりますように御協力お願いいたします。



◆職業分類委員会

藤本 和俊 委員長

当委員会は会員増強並びに会員選考委員会と密接なチームワークのもとで活動しますが、近年会員増強に苦慮しているのが現状です。本年は会長のもとでかなり増強が叫ばれていますので、入会予定者が出られた時には直ちに職業分類をはかり、入会予定者に支障の無いように務めてまいります。





◆会員増強委員会

角井 吉彦 委員長

本年度会長方針として新入会員3名を目標にされております。会員なり、クラブ全体で会員増強と退会防止に取り組まなければなりません。増強委員会の任務は、クラブの職業分類表を絶えず検討し、未充填の職業分類に対して適格な会員候補者を理事会に推薦することが任務です。



当クラブでも会員数減少の危機感が現実のものとなり、会員の友人や家族、仕事関係、商工会議所やJ Cの会員等、地域の人々に声をかけ入会を勧めていただきます様、全会員にお願い申し上げます。

◆会員選考委員会

清水 修 委員長

当委員会は、推薦された新入会員候補者がロータリアンとして立派に責務を果たせるかどうか、職業分類委員会・増強委員会と連携を保ちながら、新入会員候補者の名誉を認識して1人でも多く当クラブにふさわしい会員の入会を審査するのが職務だと考えております。

◆規定委員会

谷中 清孝 委員長

規定委員会の任務は地区研修リーダーも兼務し、地区の指導の下クラブの年間研修計画を立案し、実施監督する。



2010～2011年度、樋口秀和委員長が大東ロータリークラブ定款を新しく発刊され、全会員に配布されました。それを基に、ロータリアンのあらゆる面での向上に向け努力したいと考えます。

新会員につきましては、ロータリー情報委員会と共にオリエンテーションを行い、理事会には継続的なロータリー教育の機会を提供したいと考えます。





◆親睦活動委員会

木村 克己 委員長

東日本大震災により被災、被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。

本年度親睦委員会としてはロータリークラブの根幹を成す「会員相互の親睦」を図るために、会長方針にあります「楽しい例会、仲間に会える楽しみ、奉仕の出来る喜び」を感じて頂ける様な、例会、家族会、クリスマス例会の運営に努めて参ります。

その中で、44年前のチャーターメンバーの熱い思いや、当クラブの歴史、そして現在の東日本の現状を再認識する様な設えを考えたいと思っております。

メンバーの皆様の御支援、ご協力をよろしくお願い致します。



◆プログラム委員会

堀部 邦夫 委員長

2011～2012年度プログラムを作成するにあたり前期に3回、後期に1回の休会日、又夜間例会は前期11月8日「社会奉仕情報集会」に設定しました。毎年例会の30分卓話であります、やはり面白く役に立つ話しをとということで、卓話担当の方々にはそれなりの準備あるいは頭を痛めておられる方もおられるかと思いますが、2660地区でも卓話銀行という卓話講師を依頼できるシステムがあり社会奉仕、環境保全、教育、文化、趣味と非常に多くの分野にわたって人材がおられます。

今年も会員の方々には充実した例会を持っていただくため、気楽に卓話担当の皆様には相談にのり応援して行きたいと考えております。

一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。





◆会報委員会

北本 良弘 委員長

本年度、会報委員長をされるはずであった植田恭平君が6月29日、53歳という若さでお亡くなりになり、ロータリーの友として、友人として残念で成りません。ご冥福をお祈りするばかりです。今期、植田君に変わり会報委員長をさせて頂くにあたり、皆様には例年同様、速やかな原稿の提出をお願いしますとともに、空いたスペースに(作家/登山家である深田久弥氏により執筆された書籍)日本百名山の解説を掲載させて頂きたいと思います。



新年度が始まる直前と言う事で、故植田恭平君より活動方針が提出されていたので掲載させて頂きます。

『3月11日に起こった未曾有の東日本大震災。その時私は腎臓移植のため長期入院しておりました。病院のベッドで大きな揺れを感じ、病棟内が一時はパニックになりました。日を追うごとに被害の大きさを知り、命の大切さや健康の重要性を痛感しました。入院生活の中、ネットで週報を確認するのが楽しみでした。本年度は命や健康をテーマに充実した週報の作成に努力します。』

最後に、広報委員会、並びに会員皆様の御協力、宜しくお願い致します。

◆雑誌委員会

小林 誉典 委員長

日ごろは、大東ロータリー内では、例会や親睦活動などを通じて、情報交換をはかれています。他のクラブとの交流は、年1回の四條畷、大東中央との合同例会以外は、地区大会などで、細かい情報交換は困難なところ。その点、月刊「ロータリーの友」は、普段接点のない、日本中の他クラブの情報が満載で、日々のロータリー活動に役立ちますし、自己啓発にもなります。そこで、今期の活動方針としては、発刊毎に内容の概略を紹介し、期内で雑誌に1報は投稿を目指したいと思います。会員皆様のご協力、ご支援の程よろしく申し上げます。





羅白岳 : 標高 1660m

羅白岳(らうすだけ)は、北海道・知床半島にある火山群の主峰及び最高峰で標高1,660m。古くはアイヌ語でチャチャヌプリ、また良牛岳と記されたこともある。1964年(昭和39年)6月1日に知床国立公園に指定され、2005年7月にこの山域を含む知床半島が知床(世界遺産)に正式登録された。日本百名山、花の百名山及び新・花の百名山に選定されている山である。



標高は1995年に国土地理院の調査で1,661mに改定されたが、より正確に測定できるGPS調査により、2008年5月1日に再び1,660mに改定された。

流紋岩質～安山岩質の溶岩による活動は成層火山を形成したものの、最終的に山頂付近は溶岩円頂丘を形成させている。約500年前まで火山活動を続けていた活火山であり、1964年には下流の羅白町で100回を超える群発地震や間欠泉の噴出を観測している。

知床富士とも呼ばれている。1965年(昭和40年)に、『羅白湖畔から仰ぐ羅白岳』の知床国立公園の10円切手が発売された。



斜里岳 : 標高 1545m

斜里岳(しゃりだけ)は北海道の知床半島にある火山群の一つで、標高1,547mの第四紀火山。最近の噴火は約25万年前。日本百名山に選定されている。



古くはアイヌ語でオンネヌプリといった。シャリとはアイヌ語で「葎の生えた湿原」の意。山頂は斜里岳、南斜里岳、西峰からなる。

オホーツク富士、斜里富士とも呼ばれる。

一般的な登山道は、清里町側から登るもの。

近隣の知床斜里駅から登山口までは、定期バス(斜里バス)も運行されている(始発06:30、1日3便)。

